

子どもの日本語教育研究会 第一回大会

2016年3月26日(土)
於:東京女子大学

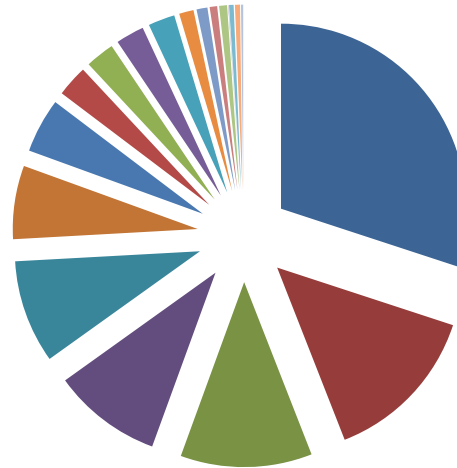
日本語支援における 地域ボランティアの関わりと 読み聞かせの効果

—外国人散在地域での可能性—

當房詠子(梅光学院大学・非常勤講師)

外国人散在地域の課題

山口県の
在留外国人
13,442人



- 下関市(4,038人)
- 宇部市(1,884人)
- 岩国市(1,547人)
- 周南市(1,283人)
- 山口市(1,212人)
- 防府市(863人)

(平成27年6月 法務省 政府統計の総合窓口 在留外国人統計)

日本語指導が必要な外国人児童生徒の学校種別在籍状況

	小学校		中学校		高等学校		中等教育学校		特別支援学校		合計		前年度比[%]	
	児童数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数
山口県	25	11	12	8	4	3	0	0	0	0	41	22	132.3	146.7
全国	18,884	3,790	7,809	1,897	2,272	384	56	1	177	65	29,198	6,137	108.1	106.5

「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成26年度)の結果について」
(文科省) http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/27/04/1357044.htm

◆対象児童

日本語指導
担当教員の
不在

- ・中国人女子(満10歳)
- ・日本語学習歴なし
- ・平成27年3月に来日→4月に転入

◎4学年の学級(28名)へ

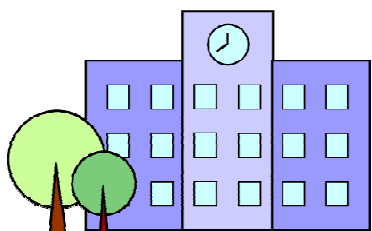
◎転入初期、教頭等による取り出し指導

⇒ひらがなの読み書き

※学校生活や学習に必要な語彙や文型の導入なし

◆ボランティア支援 ①

1ヶ月後…



だれか中国語のできる人
いませんか？！

参加者	経歴など	方法	
T 1	中国語のできる 地域のシルバー人材	自宅	国語の教科書の学習単元を 中国語に翻訳
T 2	中国人留学生	入り込み (週1回)	授業の通訳
T 3	日本語教員 (※発表者)	入り込み (週1～2時間)	日本語補助

1学期終了時・・・

- ◎: 数字(1～億)、時間
- : ひらがな単独の読み書き
- △: ひらがな3文字以上／身近な物の名前

日本語の理解や発話に**上達はあまり見られなかった**

母語による支援の割合が
高かったためか？

夏休みに
ほぼ毎日
1～2時間
(T1、T3)

◆ボランティア支援 ②

夏休み中

T1	1時間×週6	生活の中での日本語、読み書き
T3	1時間×週3~4	『日本語学級1』(波多野ファミリースクール)

10月中旬～

T3	日本語教員(※発表者)	週2~3時間	『日本語学級2』
T4	読み聞かせボランティア (代表者)	週2~3時間	絵本の 読み聞かせ
T5	読み聞かせボランティア (教員免許所有)		
T6	読み聞かせボランティア (教員免許所有)		

3学期(1月末)には・・・

◎: 語彙の増加(ひらがな、カタカナ)

△: 漢字の読み書き

◎: 本への興味

◎: オノマトペの使用

○: 読んだ本のあらすじ(単文)

△: 文法の正確さ

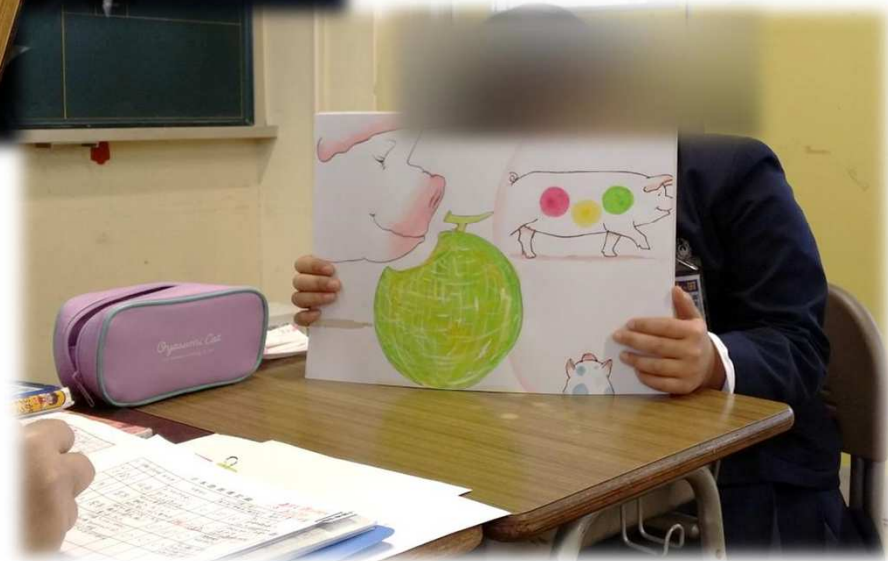
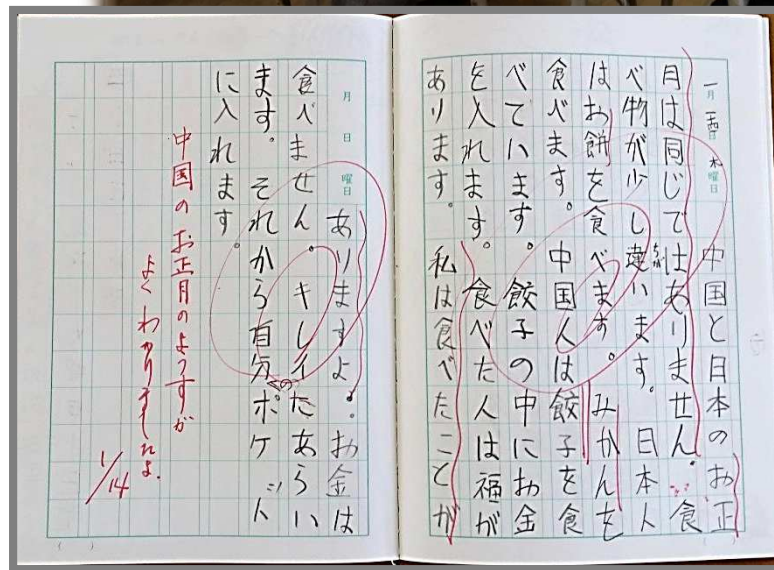
100冊以上



学級活動での**発表!** 算数のテスト**満点!**
理科のテスト**90点以上!**



<2月16日>
 この日は『なにをたべてきたの?』をボランティアが絵に描いた紙芝居を使い、児童自身がお話を聞かせてくれた。



← <1月14日>春節についての作文

<担任の先生より>

板書を考えながら写しています。特に「ふり返り」の文は、その時間の要点を、言葉をつなぎ文章化できるように、成長が見られます。

算数ノート

2月22日

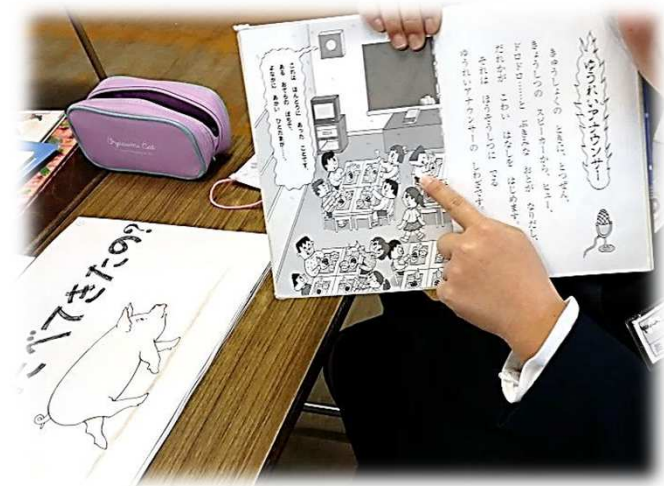
ふり返り
面と面、辺と辺、面と辺の関
係がよくわかりました。一つの
面について、平行な辺とすい直
な直なそれぞれが4つある。でも
一つの辺について平行な辺は3
つ、すい直な辺は4つあります。

◆読み聞かせボランティアの方法

- 幼児向け絵本～中学年向け読み物
- 普通のスピード(むしろ早い)
- わかりやすく言い換えたりしていない
- 長めの本を交互読み
- 最後に、短めで易しい本を児童に読ませる
- 本に出てきたカタカナ語を書き出させる
- クイズ形式で言葉の意味を当てさせる

◆ボランティアの変化

- 「です・ます体で書かれたもの」「わかりやすい文章」「難しい言い回しの昔話を選ばない」
⇒ **本選びに基準**を設けるようになった
- 日本語を学ぶ**工夫をする**ようになった
- 目の前の児童の成長
⇒ 「私自身も**楽しい**」
「これからも**続けたい**」



読み聞かせボランティアの参加により…

- ①短期間での日本語の上達が見られた
- ②読書への意欲が高まった
- ③学力の向上に役立った
- ④地域の人材を活用できた
- ⑤外国人児童への関心を持ってもらえた
- ⑥担任の負担を軽減できた



学習言語の指導や細かな文法指導が
継続されることが重要であり、課題